

2020年3月10日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

「SIP 第2期「スマートバイオ産業・農業基盤技術」シンポジウム 2020

－新たなスマートフードチェーンの構築をめざして－

開催方法変更のお知らせ

農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）は、標記シンポジウムを内閣府 SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアム*および慶應義塾大学 SFC 研究所と共催で3月18日に開催する予定としておりました。（2月14日プレスリリース配信）

しかしながら、新型コロナウイルスの国内での感染拡大に伴い、蔓延防止の観点から、下記の通り開催方法を変更し、Web 配信にて主要な研究成果等をご紹介する催しとさせていただきます。

開催直前のご連絡となり、ご出席を予定していらした皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時：2020年3月18日（水）14:00～16:00
2. 配信方法：YouTube による配信
3. 視聴申込方法：WAGRI 協議会ホームページにある視聴申込フォーム
(<https://wagri.net/ja-jp/event/20200318>) よりお申し込みください。
4. 視聴料：無料
5. 申込期限：3月13日（金）17時00分まで

※詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2020/02/134054.html>

※報道関係者で取材をご希望する方は、視聴申込フォームの自由記入欄にてお申し込みをお願いします。

*内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期の「スマートバイオ産業・農業基盤技術」では、農産物生産から加工・流通・販売・輸出までのデータを相互活用する「スマートフードチェーン」のモデル構築をめざしています。現在、消費、流通と生産間の情報の共有化と相互のマッチングシステムが未整備で、各プロセスにおいて多くの非効率性が残されています。このため、SIP 第1期での成果である「農業データ連携基盤（WAGRI）」の機能を拡張し、フードバリューチェーン全体に展開する新たなデータプラットフォームの構築を進めることとしました。これにより、例えば販売業者や消費者の皆様に対して、その農産物が「どこでどのような栽培をされて、いつ出荷されたのか、どのように運ばれたのか」という情報を「見える化」することが可能になります。